

## 臨床実習

[実習] 第2学年 後期 必修 2単位

《担当者名》○長谷川純子 j-hasegawa@hoku-iryo-u.ac.jp 小島悟 鈴木英樹 吉田晋 武田涼子 高橋尚明 大須田祐亮  
澤田篤史 佐々木祐二 岩部達也 山根裕司 阿部隆宏 只石朋仁 中村宅雄 佐藤一成 多田菊代 谷口翔平  
用田歩

### 【概要】

理学療法の対象となる「地域で生活する障がい者や高齢者」の日常生活の実情や成り立ちを理解するために、前提となる人間理解や生活理解を主目的とする。具体的には、対象となる方々からICF（国際生活機能分類）の各構成要素に沿った生活の様子などの聞き取りを経験することで、「人々の生活を支える理学療法士」として持つべき視点や理学療法と生活支援との結びつきを学ぶ。さらに、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割や多職種との協働についても理解する。

### 【学修目標】

臨床実習における見学内容も踏まえ、施設毎に理学療法士の業務内容が多様であることを知る  
在宅生活支援を担う理学療法士の役割を知る  
在宅生活支援を目的とした多職種との協働について理解する  
理学療法の対象者の健康や生活にまつわる背景を把握することができる  
対象者のICFの各構成要素の関連について、部分的に説明することができる  
理学療法士として適切な身だしなみや態度・行動をとることができる

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	オリエンテーション・事前講義	臨床実習の日程、進め方、課題とその提出方法、成績評価について理解する	長谷川純子 只石朋仁 山根裕司 吉田晋
	臨地実習	通所もしくは訪問リハビリテーション施設において実習を行う	臨床実習指導者
	事後セミナー	臨床実習での学びを学生同士で共有し、学びを深めるための事後セミナーを行う	全担当教員

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

実習日誌 80%

報告書 20%

### 【備考】

「臨床実習の手引き」を熟読し、必要な準備をすること。  
関連する各講義の資料や教科書等を用いて、実習前に十分な事前準備を行うこと。

### 【学修の準備】

「臨床実習の手引き」を熟読し、必要な準備をすること。

### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP4) リハビリテーション専門職として、地域的国際的視野でリハビリテーションの発展に貢献する能力を身につけている。

### 【実務経験】

全教員（理学療法士）

### 【その他】

この科目は主要授業科目に設定している